

茨城県陶芸美術館 企画展

日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念展

フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピア

コレクション・カッコネン

100th Anniversary of Diplomatic Relations between Japan and Finland
Power of Ceramics: Modernism in Finnish Design Collection Kakkonen

プレス・リリース

平成30年4月21日(土)～7月1日(日)



飾皿（果実）1970-80年代 ビルゲル・カイピアイネン アラビア製陶所
コレクション・カッコネン©KUVASTO.Helsinki&JASPAR,Tokyo,2018
photo:Niclas Warius

茨城県陶芸美術館

〒309-1611茨城県笠間市笠間2345番地（笠間芸術の森公園内）

TEL 0296-70-0011/FAX 0296-70-0012

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

同時開催

マリメッコ・スピリッツ

Finland Meets Japan



1 展覧会名 フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピア
Power of Ceramics: Modernism in Finnish Design

2 開催趣旨

A: 一言でいうと (41文字)

本展は、独立運動の中で生まれ育まれたフィンランド陶芸の本質とその魅力に迫る展覧会です。

B: もう少しでいいいにいうと (126文字)

フィンランドの独立運動の中で生まれ育まれたフィンランド陶芸の歴史的、芸術的背景とともに、これまで体系的に紹介されることがなかったファイン・アートとしてのフィンランド陶芸の多様な表現に焦点を当て、それらが最も華やかに開花した時代の傑作を一同に展示します。

C: 詳細にいうと (378文字)

日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を記念して開催される「フィンランド陶芸展 芸術家たちのユートピア」では、フィンランド・デザインのゴールデン・エイジと呼ばれる1950年代から1960年代の陶芸作品を中心に紹介します。

シンプルでありながらも暖かみのあるフィンランドの陶磁器は、フィンランド国内のみならず世界各地で時代や世代を超えて愛され続けています。日本にも多くの愛好家が存在しますが、これまで日本において紹介されてきたフィンランド陶芸はプロダクト・デザインが中心であり、その全容はあまり明らかにされてきませんでした。

本展では、これまで体系的に紹介されることがなかったファイン・アートとしてのフィンランド陶芸に焦点を当て、それらが最も華やかに開花した時代の傑作を一同に展示し、様々な表現とその魅力の全てを紹介します。

本展は、フィンランド陶磁器やガラス作品の世界的コレクター、キュオスティ・カッコネン氏のコレクションを中心に構成されています。

3 展示構成 (出品総数 137件)

- 第1章 フィンランド陶芸の萌芽－ナショナル・ロマンティシズム
National Romanticism - The Dawning of Finnish Ceramic Art
- 第2章 近隣諸国の影響を受けて－アール・デコ
Art Deco - With Influences from Neighboring Countries
- 第3章 フィンランド陶芸の確立－オーガニック・モダニズム
Organic Modernism - Fruition of Finnish Ceramic Art
- 第4章 フィンランド陶芸の展開－ピクトリアリズム
Pictorialism - Global Advancement of Finnish Ceramic Art
- 第5章 プロダクト・デザイン－フィンランドと日本
Product Designing - Finland's Individuality and Its Relationship with Japan

4 主な作品 (別添作品写真キャプション)

- ①花瓶 1897-1902 アルフレッド・ウィリアム・フィンチ/アイリス工房
- ②彫像 (駱駝) 1940年代 ミハエル・シルキン/アラビア製陶所
- ③彫像 《フラワーツリー》 1960年代 ビルゲル・カイピアイネン/アラビア製陶所
- ④飾皿 (葦) 1960年代末期 ビルゲル・カイピアイネン/アラビア製陶所
- ⑤彫像 《ピースバード(シャクシギ)》 1960頃 ビルゲル・カイピアイネン/アラビア製陶所
- ⑥陶板 (聖体祭) 1952-53 ルート・ブリュック/アラビア製陶所
- ⑦飾皿 (果実) 1970年代-80年代 ビルゲル・カイピアイネン/アラビア製陶所

- 5 会期・会場等
 会 期：平成30年4月21日(土)～7月1日(日) (62日間)
 会 場：茨城県陶芸美術館 地階企画展示室
 開館時間：午前9時30分から午後5時まで (入館は午後4時30分まで)
 休 館 日：月曜日 (ただし4月30日(月)は開館)
- 6 主催・後援・助成等
 主催：茨城県陶芸美術館
 特別協力：コレクション・カッコネン
 企画協力：S2株式会社
 協力：有限会社スコープ、アラビア、イッタラ
 協賛：大日本印刷株式会社、フィンエアー、フィンエアー カーゴ、株式会社常陽銀行
 後援：フィンランド大使館、フィンランドセンター
- 7 観覧料
 一般820(670)円／高大生620(510)円／小中生310(260)円
 ＊ () 内は20名以上の団体料金。障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方 [ただし1人につき1人まで] は無料。土曜日は高校生以下無料。
- 8 関連催事 (同時開催展 マリメッコ・スピリッツ Finland Meets Japanと共通です。)
 ＊ 詳細はイベントチラシ、ホームページ等でご確認下さい
- オープニングイベント ※展覧会チケットが必要です。
 平成30年4月21日(土) セレモニー14:00～ 講演会15:00～
 当館1階多目的ホール、地階企画展示室
 ホールでのセレモニーの後、ハッリ・カルハ氏の講演会を実施します。どなたでもご参加いただけます。
 定 員：120名 (先着順)
 - スペシャルワークショップ「ヒンメリをつくろう」
 平成30年4月24日(火)、25日(水) 10:00～15:00 ※12:00～13:00は、昼食休憩
 講師エイヤ・コスキ(ヒンメリ・アーティスト)
 定員：各日30名(先着順 電話で事前予約受付有り)
 - 講演会「フィンランドのアラビア窯ーカイ・フランクそして日本」
 平成30年5月5日(土) 13:30～15:00 当館1階多目的ホール(聴講無料)
 講師：山口敦子氏 (岐阜県現代陶芸美術館学芸員)
 定員：120名 (先着順)
 - 講演会「親子で見たフィンランドの学びとは」
 平成30年5月12日(土) 13:30～15:00 当館1階多目的ホール(聴講無料)
 講師：茂田里加氏 (フィンランドセンター オフィスマネージャー)
 定員：120名 (先着順)
 - 講演会「フィンランド豊かさのメソッド」
 平成30年5月19日(土) 13:30～15:00 当館1階多目的ホール(聴講無料)
 講師：堀内都喜子氏 (フィンランド大使館 広報部 プロジェクトコーディネーター)
 定員：120名 (先着順)
 - 裏千家 海老澤宗香氏によるマリメッコお茶会
 会場のマリメッコ茶室にて、裏千家 海老澤宗香氏にお茶会を開いていただきます。
 平成30年5月3日(木)、5月4日(金)
 午前の部 10:00～11:45 午後の部 13:00～14:45
 定員：120名 (先着順 ※電話で事前予約受付有り)
 場所：当館地下1階マリメッコ茶室
 - ギャラリー・トーク 平成30年5月26日(土)・6月9日(土)・6月24日(日)
 いずれも13:30～ ＊要企画展チケット
- 9 巡回会場
 目黒区美術館 2018年7月14日(土) - 9月6日(木)
 岐阜県現代陶芸美術館 2018年11月17日(土) - 2019年2月24日(日)
 山口県立萩美術館・浦上記念館 2019年4月20日(土) - 6月30日(日)
 大阪市立東洋陶磁美術館 2019年7月13日(土) - 10月14日(日)

10 連絡先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611笠間市笠間2345番地（笠間芸術の森公園内）

TEL.0296-70-0011/FAX.0296-70-0012

展覧会担当 学芸課 柳田 高志 yanagida.takasi@post.ibk.ed.jp

広報担当 企画管理課 福家 佳奈 kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

※主な作品写真データ

広報担当のE-Mailアドレス kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp までご連絡いただければ、すぐにデータをお送りいたします。写真を掲載する際には“4 主な作品”に記載されている、それぞれの作品キャプションを併記してください。その他必要なクレジットは次のとおりです。

①、②、③、④、⑥、⑦にはコレクション・カッコネン及びphoto:Niclas Wariusを併記する。

②、③、④、⑥、⑦には、©KUVASTO.Helsinki&JASPAR,Tokyo,2018を併記する。

⑤には、photo:Miyagawa Kunioを併記する。

